

■新美南吉 児童文学者。新人童話作家として嘱望されたが、夭折、近年作品への評価が高まっている。

にいみしんきち
大正政変・・1913＝ 愛知県半田で、渡辺多蔵・りゑの次男に生まれる。夭折した長男の名を受継いで、正八と名づけられる。

誕生後、母が体調を崩したため、その愛をほとんど受けることのないうち、

ロシア革命・1917＝ 4歳：母が死去。まもなく継母が来て、
本格政党内閣1918＝ 5歳：異母弟が誕生。弟とは仲良くするが、

原敬首相暗殺1921＝ 8歳：実母の弟たる富農の叔父が死去、その後継ぎ養子に入り、新美正八となるが、血縁ない祖母と暮らしに、実家に戻ってしまう。

水平社結成・1922＝ 9歳：

優秀な成績で、
円本時代始・1926＝13歳： 半田第二尋常小学校を卒業、生徒を代表した式での答辞で、教師らを驚嘆させ、半田中学校に入学。
少年倶楽部愛誦などの諸雑誌に投稿したり、級友たちと作品朗読会を開き、

世界恐慌・・1929＝16歳： 同人誌{オリオン}を出すなど、早熟な文学少年で、

満州事変・・1931＝18歳： 卒業。岡崎師範学校を受験するも、身体検査で不合格となり、母校小学校の代用教員になる。*[赤い鳥]に投稿した「ごん狐」「正坊とクロ」などの童話が鈴木三重吉に認められて掲載され、その縁で異聖歌、与田準一などの同人誌{チチノキ}に参加、退職して上京、東京高等師範を受験するも不合格で、異の勧めで、

五一五事件・1932＝19歳： 東京外国語学校に入学。新美南吉をペンネームとして、多くの童話を発表するが、
国際連盟脱退1933＝20歳： 北原白秋が{赤い鳥}を離脱、{チチノキ}も廃刊で、発表の場を失うなか、傑作「手袋を買いに」を執筆。

帝人疑獄事件1934＝21歳： 咯血し、自宅療養、回復後東京に戻り、童謡から童話へ展開、
芥川直木賞始1935＝22歳： 恋人とも別れ、{チチノキ}が復活、猛烈に執筆するも、再び廃刊。詩の傑作「デンデンムシノカナシミ」、

二二六事件・1936＝23歳： 卒業。教員免許とれず、翻訳の仕事するうち、2度目の咯血で、帰郷。

日中戦争始・1937＝24歳： 回復後、河和第一時尋常小学校の代用教員となり、2人目の恋人にも出会うも、何れも破綻。

健保+総動員 1938＝25歳： 中学時代の恩師が校長の安城高等女学校教諭に採用され、
第二次大戦始1939＝26歳： 新たな恋人もできて*絶頂となり、"久助君もの"、「花のき村と盗人たち」「牛をつないだ椿の木」など執筆。

大政翼賛会・1940＝27歳： 別れた恋人が自殺して衝撃。「嘘」、
日米開戦・・1941＝28歳： 最初の単行本「良寛物語・手毬と鉢の子」出版するも、血尿が出て死を覚悟するなか、
・・・・・1942＝29歳： *次々傑作を書き、第1童話集「おぢいさんのランプ」を刊行して、新人作家として嘱望されたが、
創価学会検挙1943＝30歳： 退職後、咽喉結核で、没した。